

かがやき

【学校教育目標】

- ・明るく
- ・元気に
- ・美しく



自ら目標に向かって努力し、共に支え合う学校

校長 堀口 雪子

木々の緑がまぶしい季節となりました。校庭のケヤキの若葉を見ると、子供たちのようなしなやかさと初々しさを感じます。休み時間には校庭で元気に遊び、授業には一生懸命に臨んでいます。笑顔の子供たちがいっぱい学校です。

4/16、1年生を迎える会が行われました。各学年からの歓迎のメッセージとプレゼントで1年生の入学をお祝いしました。王冠をかぶり花のアーチを6年生と手をつないで入場する1年生はとても嬉しそうでした。1年生からも「どうぞよろしくお願いします」のあいさつがあり、96人の1年生を迎え、大東西小はますます大きな明るい家族になります。

さて、各学級では学級目標が決まりました。保護者の皆様のご意見もたくさんいただきありがとうございました。子供たちの思い、保護者の方の思い、そして担任の思いを込めて、各学級のゴールの姿として言葉にしたものができました。どの学級もこのゴールに向かって進んでいきます。

先日、全教職員でめざす学校の姿を考えました。これからの多様性社会、共生社会、予測困難な社会に生きる子供たちには「正解のない課題に対して、他と協働して最もよい答えを導き出していく力」が求められています。そこで、自分の思いや目標をもつこと、達成に向けて努力すること、周りの力を借りたり自分の力を周りのために使ったりすることを大切にしたいと考え、「**自ら目標に向かって努力し、共に支え合う学校**」となりました。「自ら・努力」には「自分から主体的に目標をもちあきらめずに取り組む」、「共に支え合う」には「一人一人がなりたい自分になるために、学級学年学校の仲間たち、保護者、地域の方々などの周りの力を借りたり自分の力を使ったりする」という思いが込められています。

5月は学級にも慣れ、落ち着いて学習に臨む絶好の時期です。子供たちは一生懸命に授業に取り組み、ノートの字も大変丁寧です。1学期の自分のめあてに「一日〇回発表する」と書いている子もたくさんいます。一方、自分の意見を伝えることに苦手さを感じている子もいます。

子供たちには、『教室はまちがうところだ』の詩を紹介し、「みんなで意見を出し合いながら、より良い答えを見つけていく」そういう教室を先生と自分達で作っていきましょう。と話しています。授業を通して、自分の考えを持ち、安心して相手に伝えることができる学級、相手の思いを受け止めることができる学級を作りたいと思っています。その積み重ねが目指す学校の姿の実現につながると思います。

